

6 衛生動物に関する検査、相談処理及び調査鑑別〔衛生動物部門〕

(1) 年間取扱件数

平成23年度の衛生動物検査及び衛生相談の件数は、表2-6-1のとおりである。また、衛生動物に関する調査研究のために、鑑別した個体数は、表2-6-2のとおりである。

(2) 衛生動物検査及び衛生相談

ア 目的

市民、保健センターなどからの依頼に基づき、衛生動物などの検査（鑑別）を行っている。その検査結果に基づき、衛生上の害についての啓発や駆除方法などの指導を行っている。

イ 結果

衛生動物などの検査依頼の総数は309件であった。そのうち、ダニ類に関するものは60件で、57件が室内ホコリ中のダニ検査であった。

昆虫類に関するものは249件で、ハエ目が59件で最も多く、次いでコウチュウ目が30件、チョウ目が29件であった。

衛生相談の総数は、368件であった。内容は、多岐にわたるが、ハエ目に関するものが最も多かった。

(3) 調査鑑別

ア 目的

感染症を媒介する昆虫類について、生息、消長及びウイルスの保有状況を調査し、感染症患者発生や被害拡大の防止に役立てるとともに、市民啓発に資する。

イ 結果

臭気誘引トラップ調査ではヒトスジシマカを多く捕獲したが、チクングニアウイルスやデングウイルスは検出しなかった。人おとり法調査ではヒトスジシマカが昼間、夜間とも活発な吸血活動をみせていた。マダニ調査では、市内に多数のマダニ類が生息しており、高い確率でリケッチアを保有していることが確認された。

表2-6-1 衛生動物検査及び衛生相談の件数

	計	平成23年										平成24年		
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
衛生動物検査	309	20	28	20	26	42	56	27	18	27	14	12	19	
衛生相談	368	27	35	26	30	52	63	31	22	30	16	14	22	
計	677	47	63	46	56	94	119	58	40	57	30	26	41	

表2-6-2 衛生動物調査鑑別個体数

項目	個体数
ライトトラップによる蚊成虫調査	42
臭気誘引トラップによる蚊成虫調査	3,973
オビトラップによる蚊成虫産卵調査	8,990
雨水マス蚊幼虫調査	2,951
人おとり法による蚊成虫調査	461
旗ざり法によるマダニ生息調査	3,191
計	19,608